

2024年3月18日

課題名：血栓回収療法後脳梗塞患者の最終転帰先から考える重要因子の研究

◆研究の目的と概要◆

倉敷中央病院、ならびに倉敷リハビリテーション病院、しげい病院、倉敷記念病院、コープ
リハビリテーション病院では、医療施設の機能分化が進む現行の医療制度の中で、施設間連
絡票を用いて急性期から回復期にかけて病期をまたいで円滑な情報提供を行っています。
一般的な急性期脳梗塞の予後予測として、年齢と神経学的障害の重症度、脳梗塞発症機序、
併存疾患、疫学的因子と合併症などが報告されています。血栓回収術後(以下；MT)の予後
予測の研究として、脳主幹動脈に対するMTは、再開通率が高く機能的予後を改善すると
報告されていますが、一方で内頸動脈終末部の閉塞の場合、血栓溶解療法(r-tPA；アルテ
プラゼ)による早期再開通は約1/3と少なく、再開通が得られなかった症例の予後は不良で
あったと報告されています)。このように、現在報告されているMTの予後予測に関しては、
梗塞部位や範囲についての報告が多く、術後リハビリについての予後予測研究が少ないの
が現状です。そこで、本研究では血栓回収術後の最終転帰先が自宅であった症例を急性期お
よび回復期リハビリ後の最終的な臨床転帰における重要因子を後ろ向き研究で検討し、急
性期から影響する因子や歩行自立度との因果関係を検討する今後の臨床に応用することを
目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2021年8月から、2024年1月までの間に、当院で急性期脳梗塞であると診断され、
血栓回収術を施行された患者さんのうち下記の共同研究機関へ転院された方。

□研究に使用される情報□

- ・評価時期：当院入院時～当院退院時(転院時)、転院先退院時
- ・患者氏名 ・患者ID ・年齢 ・性別 ・疾患名 ・左右大脳半球 ・手術日 ・r-tPA(アルテ
プラゼ)の使用の有無 ・入院前評価結果：以下のスケールを用いた評価【modified
Ranking Scale (mRS)】
- ・評価結果：以下のスケールを用いた評価【National Institute of Health Stroke Scale
(NIHSS) ・Japan Coma Scale(JCS)】
- ・認知症既往の有無 ・脳卒中既往の有無
- ・端坐位開始、初回端坐位開始、起立開始日、歩行開始日、歩行軽介助獲得日、歩行自立日
- ・リハビリ 開始時上田式片麻痺機能テスト(上田12段階グレードGr)の上肢・下肢
- ・リハビリ開始時と2週時の評価結果：以下のスケールを用いた評価【Revised version
of the Ability for Basic Movement Scale (ABMS□)】

- ・評価結果：以下のスケールを用いた評価【Functional Ambulation Categories (FAC)】
- ・機能的自立度評価法（以下 FIM）を運動項目・認知項目別の合計得点
- ・初回座位保持の可否 ・半側空間無視の有無 ・プッシングの有無 ・失語の有無 ・感覚障害の有無
- ・高次脳機能障害の有無（種類） ・評価結果：以下のスケールを用いた評価【TUG、10m 歩行、SPPB、握力】 ・急性期・回復期病院在院日数
- ・全（急性期+回復期）在院日数 ・回復期病院退院時転帰 自宅/転院/施設/死亡
- ・術後穿刺部血腫の合併の有無 ・術後出血性梗塞合併の有無 ・前方/後方循環・
- ・脳卒中既往の有無

◆情報の研究利用開始日◆

2024 年 4 月 16 日以降

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録情報や経過報告書の情報（後方施設からの返信含む）、他施設合同地域連携における脳卒中パスのデータを利用します。研究代表機関は、倉敷中央病院（当院）です。研究目的は、対象となる患者さんの情報を、医療機関を限定せずに縦断的に分析する。本研究で用いる情報は、脳卒中連携パス施設（共同研究機関）との間で、日常診療業務の一環として倉敷中央病院へ情報を集約しているものを用います。これらの情報は、倉敷中央病院 PC でのみ作業を行い、バックアップ・保管についても倉敷中央病院がセキュリティ管理するフォルダにて保管します。個人が特定されるような状態で、個人情報共同研究者チーム外に提供されることはありません。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
 リハビリテーション部
 研究責任者 喜田 昌志
 E-mail : kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）
 （★を@に変換して使用してください）

【共同研究機関】

- 倉敷リハビリテーション病院
- 倉敷記念病院
- しげい病院
- コープリハビリテーション病院

この研究課題で利用する診療情報等の利用については、当院 医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難である等の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法
（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明